

PACER

MIDI DAW FOOTSWITCH CONTROLLER



日本語ユーザーガイド

www.hookup.co.jp

nektar

目次

イントロダクション	4
同梱内容.....	4
Pacerの機能.....	4
システム条件.....	4
Pacer概要	5
さあ始めましょう	6
接続と電源.....	6
Nektar DAWインテグレーション	6
汎用コントローラーとしての利用.....	6
プリセット	7
フットスイッチCとDを使用したプリセットアクセス	7
PRESETフットスイッチとフットスイッチ (A~D) を使用したプリセットアクセス	7
エンコーダーを使用したプリセットアクセス.....	7
フットスイッチによる特定のプリセットアクセス	7
ファクトリープリセットリスト	8
コントロールエディット(設定)メニュー	9
設定対象のコントロール選択	9
SETUP(セットアップ)	9
STEP(ステップ)	9
TYPE(タイプ)	10
コントロール情報の種類.....	10
ステップのMIDIチャンネル設定.....	11
LEDカラー.....	11
リレー - 接続とプログラミング.....	12
ステップの外部コントロール、使い方?	12
保存(SAVE)メニュー	13
保存.....	13
MIDI構成(MIDI Configuration)	13
グローバル(GLOBAL)メニュー	14
グローバルMIDIチャンネル.....	14
エンコーダーアサイン	14
パニック(Panic) - オールノートオフとコントローラーリセット.....	14
MIDI出力ソース	15
フットスイッチ極性	15
エクスプレッションペダル極性.....	15
リレーモード.....	16
パッチアップ・ダウン.....	16
エンコーダーコントロールとバックアップ	17
エンコーダーコントロール.....	17
バックアップ.....	17
ファクトリーリストア	18
メニュー階層	19

本製品を安全にご利用頂くため、水分や食物などから遠ざけ、動作に悪影響を及ぼす要素の混入防止に努めてください。機器の外装保護の観点でもそのような環境でご利用は避けてください。また本ガイドで解説する範囲内の用途でご利用ください。

注意：本製品は、クラスBのデジタル機器としてのFCC規制のPart 15への適合検査をパスしています。この制限によって、本製品は住宅に設置する際に有害な干渉を防止する適切な保護を提供するように設計されています。本製品は、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があり、電波エネルギーを放射する可能性があります。ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本製品の利用によって、ラジオやテレビの受信に干渉を起こした場合、ユーザーは次のいずれかの方法で干渉を解消してください：

- 受信アンテナの向きや位置を変えます。
- 装置と受信機の距離を離します。
- 受信機が接続されているものとは別回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験のある電気または電波技術者に相談します。



CALIFORNIA PROP65 WARNING: 米カリフォルニア州で策定されています製品の表示義務に従い、本製品は人体に影響を及ぼす可能性がある化学物質が使用されています。ただしこれは微量で、無視できるレベルです。またご利用上、問題のない範囲内にあります。

詳しい情報は：www.nektartech.com/prop65

Pacerのファームウェア、ソフトウェア及びマニュアル等の書類はNektar Technology, Incの財産であり、ライセンス同意によりユーザーに提供されます。日本語に関する情報は、株式会社フックアップの資産であり、Nektar Technology, Incの許可を受けて作成しています。

© 2018 Nektar Technology, Inc. / HookUp, Inc.
NektarはNektar Technology, Inc.の登録商標です。

製品に関するすべての記述及び仕様は予告なく変更することがあります。

クリーニングとメンテナンスについて

- 修理に関するすべての作業は弊社認定の専門技師によって行われます。
- 本製品の外装をクリーニングする際は、乾いた柔らかい布またはブラシをお使いください。
- クリーニング用の化学物や研磨剤は外装に損傷を与える可能性があります。

修理に関する情報はこちらをご覧ください：<https://hookup.co.jp/support/>

イントロダクション

この度は、Nektar Pacer DAW & MIDI フットコントローラーをお求め頂き、誠に有難うございます。

Pacer はミュージシャンのために設計されたハンズフリーDAWコントローラーです。多様な用途や利便性を実現するため、一般的なMIDIフットコントローラー機能に加え、MIDI非対応のアンプなどをコントロールする機能も備えられています。このことにより、DAWやプラグイン、MIDI対応ハードウェア、そしてアナログギターアンプに至るまで、様々な機器を同時に扱えるコントローラーとして仕上がっています。Pacer は多彩な機器を備えつつ、キーボードコントローラーで培われた Nektar 独自の思想によって、明快な操作と各機能へのアクセスが可能です。Pacer をより効果的にご利用頂くために、このガイドを一通りご覧頂くことをお勧めします。

同梱内容

Pacer には以下のアイテムが同梱されています：

- Pacer コントローラー本体
- 印刷マニュアル(英語)
- USBケーブル
- 付属ソフトウェアのライセンスコードが記載されたカード
- 日本語のご案内等の書類

同梱物が不足あるいは破損している場合、お手数ですがご購入店あるいは弊社サポートまでご連絡ください。

<https://hookup.co.jp/support/>

Pacer の機能

- 10x プログラミング可能なフットスイッチ (RGB LED付き)
- 1x プリセットリコールとナビゲーション操作のためのフットスイッチ
- 2x 1/4" TRS エクスプレッション端子
- 2x 1/4" TRS フットスイッチ端子、Y字ケーブル使用で最大4つのフットスイッチを接続可能
- 2x 1/4" TRS リレー端子、Y字ケーブル使用で最大4つのアンプのフットスイッチ端子に接続可能
- 1x MIDI出力端子、USB MIDIインターフェイスとしてDAWのMIDI情報の送信可能
- 1x ロータリーエンコーダー (プッシュスイッチ付き)
- 2行表示のLEDディスプレイ
- 24x ユーザープリセット
- 2x DAWトランスポートとトラックコントロール用プリセット
- プリセットリコール時に最大16のMIDIとリレー情報の同時送信
- 1つのフットスイッチにつき最大6つのコントロール情報を設定し、同時あるいは順番に送信することが可能
- サブプリセット設定
- MIDI CC情報によるLED表示コントロール
- Nektar DAWインテグレーション
- USBポート (USBバス電源対応)
- 市販の外部電源アダプター対応、9V DC / センターマイナス / 600mA

システム条件

IPacerはUSBクラスコンプライアントのMIDI機器として、Windows 7以降または Mac OS X 10.7以降の環境で扱えます。

*システム条件内であってもすべての環境での動作を保証するものではありません。

*メーカーサポートが終了したシステム環境についてはサポート致しかねます。

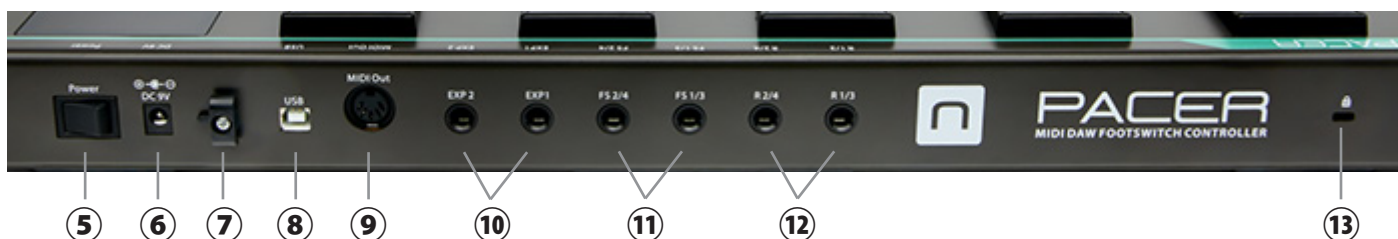
*DAWインテグレーションに関しては、ご利用のDAWソフトウェアのシステム条件も合わせてご確認ください。

PACERの概要

Pacerの各部呼称とその概要です。



- ① **プリセットスイッチ**: Pacerのプリセット選択に使用します。2秒間押したままにした後、右横のバンクスイッチ:A/B/C/Dのいずれかを押し、次に下段のフットスイッチ:1~6を押すことでプリセット:1~24(A/B/C/D 1~6)が選択できます。このスイッチはまた、設定メニュー時の"戻る"ボタンとしても機能します。
- ② **スイッチ[A]~[D]**: 上段4つのフットスイッチはプリセットバンクA~Dの選択以外にプリセットファンクション、A:トラックプリセット(DAWコントロール)、B:トランスポートプリセット(DAWコントロール)、C:前プリセットに切り替え、D:次プリセットに切り替えを行います。これらのスイッチは、別のファンクションやMIDI情報に設定することも可能です。
- ③ **スイッチ[1]~[6]**: 下段6つのフットスイッチは通常、MIDI情報や4つのリレーの操作に設定されています。また、プリセットのリコール(呼び出し)にも使用できます。DAWトランスポートとトラックコントロール時は、モードに応じて上段または中段のインジケータが点灯し、関連する操作が行えます。また、これらのスイッチは最大6つまでのコントロール情報を同時、あるいは順番に送ることも可能です。つまり、1つのスイッチで様々なアクションを起こすことが可能です。
- ④ **ロータリーエンコーダー**: 設定メニュー/パラメーターの選択と設定を行います。エンコーダーを押すことで、メニュー選択や設定値の適用を行います。
- ⑤ **Power On/Off(電源)スイッチ**: Pacer本体の電源のオン/オフを行います。
- ⑥ **パワーサプライ入力**: 市販の外部電源アダプター(9V DC / センターマイナス / 600mA)を接続して電源供給を受けます。
- ⑦ **ケーブルフック**: 電源アダプターやUSBケーブルを抜けにくくするために使用します。
- ⑧ **USB端子**: コンピューターと接続するための標準サイズのUSB端子です。このポートでコンピューターとのデータ転送とコンピューターからの電源供給を受けられます。
- ⑨ **MIDI出力**: 外部MIDI機器にMIDI情報を送るための端子です。市販のMIDIケーブルで機器のMIDI入力と接続します。また、この端子はUSB MIDIインターフェイスとしても機能し、USBを通じて受けたDAWからのMIDI情報を送ることも可能です。
- ⑩ **EXP1と2(エクスペッション)端子**: 別売のエクスペッションペダルを接続する1/4"TRS仕様のソケットです。市販のエクスペッションペダルを接続してボリュームや特定のパラメーターの操作が行えます。
- ⑪ **FS 1/3と2/4(フットスイッチ)端子**: 別売のフットスイッチを接続する1/4"TRS仕様のソケットです。Y字ケーブルを使用して1つの端子で2つのフットスイッチを接続して扱うことが可能です。Pacerの電源投入時に極性を自動検知します。
- ⑫ **R 1/3と2/4(リレースイッチ)端子**: MIDI非対応のアナログアンプなどのフットスイッチ端子と接続し、チャンネル切り替えなどに使用する1/4"TRS仕様のソケットです。Y字ケーブルを使用することで、1つの端子で2つのスイッチと接続が可能です。リレーは接続機器のフットスイッチ端子の仕様に合わせてラッチまたはモメンタリー設定にすることができます。
- ⑬ **Kensington(ケンジントン)ロック**: 本体バックパネル右端のポートは、市販のKensingtonロックに対応したポートです。盗難防止に使用します。



さあ、始めましょう

接続と電源

Pacer はUSBクラスコンプライアントに準拠したMIDI機器です。特別なドライバーソフトウェアのインストールなく Windows や macOS X 標準のドライバーで動作するので、コンピューターに接続するだけで認識され、使用することが可能です。また、動作に必要な電源は、コンピューターのUSBポートから供給されます。

接続方法と手順はとても簡単です：

- 付属のUSBケーブルを使用して、Pacer とコンピューターを接続します。
- 外部のフットスイッチやエクスペッションペダルを使用する場合、Pacer 本体の端子に接続します。
- 電源スイッチをオンにします。

初めてコンピューターに接続した場合、Pacer の認識に少し時間を要します。認識後、DAWの設定を行ってください。

Nektar DAW インテグレーション

ご利用のDAWが Nektar DAW インテグレーションに対応している場合、専用の設定ソフトウェアをご用意していますので、ダウンロードの上インストールを行ってください。このことで、シンプルな設定で高度なDAWコントロールを実現します。

設定ソフトウェアのダウンロードは Nektar 社ウェブサイトのご自身のアカウントにログイン後、ダウンロードが可能となります。最新版のサポートファイルを入力するには Nektar 社ウェブサイトに登録が必要です(英語でのサービス提供になります)：

www.nektartech.com/registration

重要なお知らせ：設定に関する情報はウェブページやPDFファイルとして公開されています。インストールと設定の際にご確認ください。

Pacer を汎用のMIDIコントローラーとして使用する場合

Pacer は汎用のMIDIコントローラーとして、mac OSX、Windows 環境でお使い頂けます。いくつかのソフトウェアでは追加ファイルをコンピューターにインストールすることで連動することも可能です。

プリセット

Pacer は各フットスイッチと外部端子の設定を「プリセット」として、本体に最大24個を保存し扱うことが可能です。24のプリセットは[A] ~ [D]の4つのバンクにそれぞれ6つのプリセットとして保存されます。本体フットスイッチそれぞれが最大で6つのコントロール情報を扱え、スイッチ操作で同時、あるいは順番に送信することが可能です。また、プリセットは読み込み時に最大で16のMIDIおよびリレー情報を送信することが可能です。このことにより、例えばライブ時にソングセットに合わせ、スイッチ操作1つで各機器の設定を即座に適用することが可能です。

以下、プリセットへのアクセス方法です：

フットスイッチCとDを使用したプリセットアクセス

工場出荷時、Pacer はフットスイッチ[C]と[D]でプリセットを順番に切り替えることができます。

- スイッチ[C] ▼でプリセットを1つ前に変更します。
- スイッチ[D] ▲でプリセットを1つ次に変更します。

メモ：フットスイッチは、別の機能に設定することも可能です。

PRESETフットスイッチとフットスイッチ (A ~ D) を使用したプリセットアクセス

24のプリセットに直接アクセスする場合は次の操作を行います。

- PresetスイッチをLEDが点滅するまで押したままにします。
- 上段のフットスイッチ[A] ~ [D]のいずれかを押し、バンクを選択します。
- 下段のフットスイッチ[1] ~ [6]のいずれかを押し、プリセットを選択します。
- 目的のバンクがすでに選択されている場合、そのままフットスイッチ[1] ~ [6]を押し、プリセットを選びます。

メモ：Presetスイッチは、常にプリセットアクセスに使用する専用のもので、別機能を割り当てることはできません。

エンコーダーを使用したプリセットアクセス

ディスプレイにトップメニューが表示されている場合、エンコーダーを使用してプリセットを選ぶことも可能です。

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"PRSET"と表示するようにします。
- エンコーダーボタンを押して、プリセットメニューに入ります。この際、クリック音が鳴り、PresetスイッチのLEDが点滅します。
- エンコーダーを回してプリセットを選択します。
- 目的のプリセットが表示されたらエンコーダーボタンを押し、プリセットを選びます。

フットスイッチによる特定のプリセットアクセス

フットスイッチ[A] ~ [D]および[1]~[6]、および外部フットスイッチ[1]~ [4]は設定次第で、特定のプリセットを呼び出すことが可能です。このことにより、スイッチ操作1つで、頻繁に使用するプリセットを瞬時に呼び出すことが可能です。設定方法の概要は以下の通りです。

- Pacer をコントロールエディットモードに切り替えます。
- 任意のプリセットの割り当て対象となるフットスイッチを選択し、"TYPE" > "PRSET"と選択します。
- 次に呼び出す(ターゲットとなる)プリセットを選択し、通常画面へ戻り、プリセットを保存します。

言葉で解説すると複雑かもしれませんが、実際に操作して頂ければ難しくないので、すぐに理解できます。

つまり、例えば[A] ~ [D]のスイッチにA5、B6、C2、D4のプリセットをすぐに呼び出せるよう設定をし、プリセットのD6に保存することが可能です。結果、D6のプリセットを呼び出せば、常に上段の4つのフットスイッチでA5、B6、C2、D4のプリセットをすぐに呼び出せるようになります。

この機能を活用すれば、ライブステージなどで特定のプリセットに瞬時にアクセスすることが可能です。

ファクトリープリセットリスト

ファクトリープリセット

Pacer は初期設定で、フットスイッチ[A] ~ [D]は以下のプリセットにアクセスできるよう設定されています。

A	B	C	D
DAWトラックコントロールプリセット	DAWトランスポートコントロールプリセット	前プリセットに切り替え	次プリセットに切り替え

トラックとトランスポートプリセットは Nektar DAWインテグレーションのみに対応しており、内容を変更することはできません。ご利用のDAWが Nektar DAWインテグレーションに対応していない場合やこれらのプリセットを使用する予定がない場合、別のプリセット呼び出しや、MIDI情報、もしくは別の機能を割り当てることが可能です。

プリセット一覧

プリセット	プリセット名	概要
A1 - A4	プログラムチェンジ 0-5	外部MIDI機器へプログラムチェンジを送信します。NI Guitar Rigなどのソフトにも対応しています。 呼び出されたプリセットに応じ、フットスイッチ1-6は、MIDIプログラムチェンジの0 ~ 23を送信します。
A5	MIDIノート	MIDIノートのE/F#/G/A/B/Cを送ります。外部フットスイッチのFS1 ~ 4はオクターブの切り替えを操作します。FS1 = -1oct, FS2 = -2oct, FS3 = +1oct, FS4 = +2oct
A6	リレー1-4	フットスイッチ1-4にはそれぞれリレー操作のための設定が割り当てられています。 フットスイッチ5と6は、リレーをトグル(ステップ1)とモーメンタリ(ステップ2)の間で切り替えます。
B1	Line6 Helix 1	ペダル1-5、スナップショット、セツトリスト、チューナー、タップテンポを操作します。
B2	Line6 Helix 2	ペダル6-10、スナップショット、セツトリスト、チューナー、タップテンポを操作します。
B3	Line6 Pod HD	ペダル1-8、チューナー、タップテンポを操作します。
B4	Line6 Pod 2.0/XT	個々のエフェクトのオン/オフ、チューナーを操作します。
B5	Fractal Audio AxeFX 1	ページ1のエフェクト、チューナー、タップテンポを操作します。
B6	Fractal Audio AxeFX 2	ページ2のエフェクト、チューナー、タップテンポを操作します。
C1	Avid Eleven Rack	エフェクトのオン/オフ、チューナー、タップテンポを操作します。
C2	Kemper Profiler	エフェクトのオン/オフ、チューナー、タップテンポを操作します。
C3	Line6 Pod HD/Helix Loooper	ルーパー機能の操作を行います。
C4	Fractal Audio AxeFX Looper	ルーパー機能の操作を行います。
C5	Elektron Octatrack Pickup Machine	トラックナビゲーションとルーパーコントロールを行います。
C6	Electro Harmonix 45000 Looper	トラックナビゲーションとルーパーコントロールを行います。
D1	Hughes & Kettner GrandMeister	チャンネル、ゲート、ブースト、エフェクトのオン/オフ、エクスプレッションペダルによるアマウントのコントロール。
D2	LEDカラー	スイッチ 1-6のMIDI CC送信と個別のLED配色のプリセットです。
D3	キーボードツールボックス	スイッチとサスティン、ボリューム、エクスプレッションペダルを扱います。 スイッチ1はCC64(サスティン)、EXP1はCC7(ボリューム)、EXP2はCC11(エクスプレッション)の操作をします。
D4	GM CC	GM規格に準拠したデバイス进行操作するためのMIDIコントロールセットです。MIDIラーン機能を持つ機器にも有効です。
D5	MMC (MIDI Machine Control)	MMC対応のDAWトランスポート(再生、停止、録音、早送り、巻戻し)を行います。
D6	シーケンスのデモ	6ステップのスイッチシーケンスで構成された設定です。PACERのステップ機能を試す際に使用します。

コントロールエディット(設定)メニュー

Control Editメニューは、Pacerの10のフットスイッチ、4つの外部フットスイッチ、2つのエクスペッションペダルに関する設定を行います。

設定対象となるコントロールの選択

設定は対象のコントロール(フットスイッチやコネクタ)を選択して行います。手順は次の通りです:

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"CTRL"と表示するようにします。
- エンコーダーボタンを押して、コントロールエディットメニューに入ります。この際、PresetスイッチのLEDが点滅します。
- 目的のスイッチあるいはペダルを操作し、エディット対象とします。
- 本体フットスイッチ[A]～[D]、[1]～[6]を操作して選択した場合、そのスイッチのLEDが点滅し、設定対象であることを示します。
- 他のフットスイッチ、もしくはペダルを操作すると、設定対象がそちらに移ります。

設定対象を選択したらエンコーダーを回して、コントロールエディットのメニューオプションを選択します。

SETUP(セットアップ)

コントロールエディットの最初のメニューはSETUPです。各コントロールに対して、最大6つのメッセージまたはアクションを6ステップでプログラムできます。このメニューは、各コントロールに割り当てられたメッセージの動作について定義します。

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"SETUP"と表示するようにします。
- エンコーダーボタンを押して、セットアップメニューに入ります。このメニューでは下表の通り、3つのオプションが用意されています。
- 目的のオプションをエンコーダーで選択し、エンコーダーボタンを押して、その選択を適用します。
- 設定が適用されると、1段階上のコントロールエディットメニューに戻ります。さらにPresetスイッチを押すことで通常画面に戻ります。

メモ:デフォルト設定は"ALL"です。

コントロールモード	機能	概要
ALL	オールステップ、ワンショット	スイッチ/ペダルを操作した際に全ての情報が同時に出力されます。この場合、1つの操作で、複数のコントロールが同時に行えます。
SEq	シーケンス	スイッチ/ペダルの操作ごとに設定されている情報が順番に出力されます。(エクスペッションペダルではこの設定はありません)
ESS	外部コントロールによるステップ選択	各スイッチ/ペダルに設定されている情報を別のコントロール操作で決定します。例えばエクスペッションペダルで扱う情報をPacer本体のフットスイッチで切り替える際に便利な機能です。

STEP(ステップ)

STEPメニューは、各コントロールで扱う情報の数(ステップ数)を設定します。手順は次の通りです:

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"STEP"と表示するようにします。
- エンコーダーボタンを押して、ステップ設定に入ります。
- フットスイッチ[1]～[6]を使用して、情報の数(ステップ数)を設定します。押したスイッチの数がステップとして適用されます。この際、適用してフットスイッチのLEDが白、他は青色に点灯します。
- LEDが点滅しているフットスイッチは設定対象となっていることを示します。

メモ:ステップごとにコントロール情報や機能を設定することができます。

TYPE(タイプ)

TYPEメニューは、各コントロール(とステップ)で扱う情報の種類を設定します。手順は次の通りです：

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイが"TYPE"と表示するようにします。
- ・ エンコーダーボタンを押して、タイプ設定メニューに入ります。対象のコントロールの設定に応じ、"CC TOG"、"PG BNK"などが表示されます。
- ・ 複数のステップが設定されている場合、対象ステップに応じて、フットスイッチ[1]～[6]のLEDのいずれかが赤色に点灯します。対象ステップの変更は、フットスイッチで行います。
- ・ エンコーダーを回して、目的のメッセージタイプに設定します。
- ・ 設定を完了したら、エンコーダーボタンを押して適用します。
- ・ 設定が適用されると、1段階上のタイプメニューに戻ります。さらにPresetスイッチを押すことで通常画面に戻ります。

コントロール情報の種類

TYPEメニューでは、下表の通りの設定が行えます。コントロール情報のタイプに応じた設定項目(データ1~3)とMIDIチャンネルの設定が可能です。エンコーダー、または[C]、[D]スイッチを使ってメニューオプションを選択可能です。

タイプ	ディスプレイ表示	データ1	データ2	データ3	MIDIチャンネル
MIDI CC トグル	CCTOG	MIDI CC (0~127)	Press 1 (1~127)	Press 2 (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI CC トリガー	CCTRG	MIDI CC (0~127)	Down (0~127)	Up (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI CC ステップ	CCSTP	MIDI CC (0~127)	Start (0~127)	End (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI ノート	NT	MIDI ノート (0~127)	ベロシティ (0~127)	設定なし	0 = グローバル、1~16
MIDI ノート トグル	NTTOG	MIDI ノート (0~127)	ベロシティ (0~127)	設定なし	0 = グローバル、1~16
MIDI プログラムとバンクチェンジ	PGBNK	プログラム (0~127)	バンクLSB (0~127)	バンク MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI プログラムチェンジ ステップ	PGSTP	Start (0~127)	End (0~127)	設定なし	0 = グローバル、1~16
MIDI NRPN Coarse	NRPNC	値 (0~127)	LSB (0~127)	MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI NRPN Fine	NRPNF	値 (0~127)	LSB (0~127)	MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
MMC (MIDI Machine Control)	MMC	デバイスID (0~127)	コマンド (0~127)	設定なし	設定なし
Pacer リレー出力	RELAY	モード (nO/nC/Lt)*	選択 (1~4)	設定なし	設定なし
Pacer プリセット	PRESET	対象 (A1~D6, Trc, Trn)	設定なし	設定なし	設定なし
Pacer プリセット +/-	PR+	方向 (Inc/Dec)	設定なし	設定なし	設定なし
コントロールステップ選択	STEP	対象 (A~D, 1~6, FS1~4, EXP1~2)	ステップ (1~6)	設定なし	設定なし
コントロールステップ +/-	STP+	対象 (A~D, 1~6, FS1~4, EXP1~2)	方向 (Inc/Dec)	設定なし	設定なし
Nektar DAWコントロール	DAW	機能 (ソロ、ミュート他)	設定なし	設定なし	設定なし
オフ	OFF	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

注意: エクスプレッションペダル1/2にはピッチベンド、アフタータッチなど別タイプの設定を行います。

設定例

- ・ ディスプレイに"CC TRG" (MIDI CCトリガー)が表示されるまでエンコーダーを回し、押して選択します。
- ・ ディスプレイに"CC"と表示されるようエンコーダーを回し、押して選択します。
- ・ エンコーダーを回して、0~127のCC番号を設定し、フットスイッチ[C]を押して適用します。
- ・ "Down"と表示されますので、スイッチやペダルを押し込んだ際のCC値(0~127)をエンコーダーで設定し、フットスイッチ[C]を押して適用します。
- ・ "Up"と表示されますので、スイッチを離れた際やペダルを上げた際のCC値(0~127)を設定し、エンコーダーもしくはフットスイッチ[D]を押します。
- ・ ひとつ上の階層へ戻ります。さらにPresetスイッチを押すことで通常画面へ戻ります。必要に応じて保存作業 (p.14参照)を行ってください。

注意: 機器によってはプログラム番号の表示方法が異なります。0-127ではなく、1-128の表示を使用する場合、MIDIプログラムチェンジの0 = 機器のプログラム1番、つまり"1"を足した番号の呼び出しになることを覚えておきましょう。

ステップのMIDIチャンネル設定

MIDI情報は、1~16の任意のMIDIチャンネル、またはグローバルMIDIチャンネル(値=0)で送信できます。

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"M CHA"と表示されたら、エンコーダーボタンを押してMIDIチャンネル設定モードに入ります。
- エンコーダーを回して、MIDIチャンネル(0または1~16)を選びます。0に設定した場合、グローバルMIDIチャンネル設定に従います。
- MIDIチャンネルを選択したらエンコーダーボタンを押して設定を適用します。

LEDカラー

Pacer 本体のフットスイッチ[A]~[D]、[1]~[6]のLEDは、用途やお好みに合わせて点灯色を設定できます。デフォルト設定では、スイッチに設定されている情報に従って色が設定されています。(下表参照)













スイッチのオン/オフそれぞれで色設定をすることが可能です。あるいは同じ色で照度を変えることが可能です。色設定手順は以下の通りです:

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"LED"と表示されたら、エンコーダーボタンを押して設定モードに入ります。
- エンコーダーを回して、設定メニュー(下表参照)を選び、エンコーダーボタンを押して設定をします。
- 設定値を選択したらエンコーダーボタンを押して設定を適用します。

表1-設定メニュー

メニュー	ディスプレイ表示	設定値	機能
MIDI	MIDI	ON/OFF	ONにした場合、LEDの色はUSB MIDIポートから受けたMIDI情報によって決定されます。
オンカラー	ONCLR	OFF, 01A/b ~ 12 A/b, Default	オンまたは最大値時の色を設定します。
オフカラー	OFCLR	OFF, 01A/b ~ 12 A/b, Default	オフまたは最小値時の色を設定します。
LEDポジション	LEDNM	0 ~ 3	色設定対象のLEDを選択します。1つのフットスイッチに最大で3つのLEDが装備されています。このメニューではどのLEDの色設定を行うのかを選びます。 0 = デフォルト、1 = 下段、2 = 中段、3 = 上段のLEDを選択します。
リターン	BACK	設定なし	コントロールエディットの最上層に戻ります。

表2-カラーチャート

色値	色	デフォルト設定時の情報
1A / 1b		ステップ選択
2A / 2b		プリセット選択
3A / 3b		MIDI プログラム
4A / 4b		
5A / 5b		MMC
6A / 6b		
7A / 7b		MIDIノート
8A / 8b		DAW機能
9A / 9b		MIDI CC
10A / 10b		リレー
11A / 11b		NRPN Coarse, NRPN Fine
12A / 12b		

*A= フルイルミネーション、B= ティマー設定

リレー - 接続とプログラミング

Pacer のリレー端子 (R1/3とR2/4) はギターアンプのフットスイッチ端子と接続し、チャンネル切り替え、リバース、トレモロ、エフェクトループのオン/オフなどを操作できます。また、この端子をキーボードのサステインペダル端子と接続してコントロールすることも可能です。

Pacer のリレー端子は、1つのコネクタで2つのリレー回路を扱うことが可能です。通常の1/4"TSプラグのシールドを使用した場合、1つの回路:1または2のみ有効になります。市販のY字ケーブルを使用することで、1と3あるいは2と4、4つのリレー回路 = フットスイッチコントロールを扱うことが可能です。Y字ケーブルは一般的な1/4"TRS - 2x 1/4"TS 仕様のインサージョンケーブルを用いることが可能です。

Pacer のリレー機能は接続先のアンプやキーボードのフットスイッチ端子の仕様に応じて、設定オプションが用意されています。手順は以下の通りです:

- エンコーダーを回して、ディスプレイに"TYPE"と表示されたら押し、エンコーダーボタンを回して"RELAY"を選択します。
- エンコーダーを回して、"MODE"を選択します。
- エンコーダーを回して、設定オプション: ノーマルクローズ (nC)、ノーマルオープン (nO)、ラッチ (Lt) を選びます。
- エンコーダーを押して設定を適用するとメニューが上層に戻ります。
- エンコーダーを回して、ディスプレイが"SELECT"と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- エンコーダーを回し、リレー1~4のいずれかを選択したらエンコーダーボタンを押して設定を適用します。

リレーオプション

オプション	ディスプレイ表示	機能
ノーマルクローズ	nC	フットスイッチを踏んでいる間、クローズになります。
ノーマルオープン	nO	フットスイッチを踏んでいる間、オープンになります。
ラッチ	Lt	フットスイッチの操作ごとにオープンとクローズを繰り返します。

ヒント: リレー設定は実際に機器と接続して動作を確認しながら適切なオプションを選びます。

ステップの外部コントロール、使い方は?

Pacer は「ステップ機能」によって、1つのフットスイッチに最大6つのコントロールを割り当てることができます。この機能を有効に扱う手段のひとつとして、任意の1つのスイッチを操作し、別のスイッチ/ペダルに割り当てたステップを切り替えていくことが考えられます。これによってプリセットを切り替えることなく、各スイッチ/ペダルに割り当てられたコントロールを切り替えることが可能になります。

例: スイッチ[1-5]のステップ割り当てを切り替えるために、スイッチ[6]を使用する場合

- Control Edit メニュー内 "SETUP" でスイッチ[1]-[5]を全て "ESS" に設定します。
- 前述の通り、スイッチ[1]-[5]で必要とするステップ数ならびにコントロールする内容を設定します。
- スイッチ[6]の6つのステップを全て有効にします。
- スイッチ[6]のステップ全てをメッセージタイプ "STP- +" にプログラムすると、[6]を押すごとにステップを切り替えることができます。
- スイッチ[6]のステップ1のターゲットを [1]、ステップ2のターゲットを [2] など、6つのステップ全てが[1]-[5]のフットスイッチに影響を及ぼすよう、各ステップのターゲットを設定します。

メモ: 任意の1つのフットスイッチを使ってエクスペッションペダルのステップを変更することもできます。例えば、メッセージ・タイプ "ESS" に設定されたエクスペッションペダルでステップを2つアクティブにしている場合、任意のフットスイッチで割り当てられた2つの機能を切り替えることができます。

保存 (SAVE) メニュー

保存メニューでは、現在のコントロール設定 (スイッチ[A]~[D]、[1]~[6]、外部フットスイッチ1~4、エクスプレッション1/2) を24のプリセットいずれかに保存します。加えて、"MIDI Configuration" (MIDI構成) メニューでの設定によって、プリセット切り替えと同時に最大16タイプの追加のMIDI情報の送信が行えます。

保存

- 通常画面でエンコーダーを回して、ディスプレイに"SAVE"と表示されたら、エンコーダーを押します。
- ディスプレイに"STORE"が表示されていることを確認してエンコーダーボタンを押します。
- エンコーダーを回して、保存先のプリセット (A1~D6) を選びます。
- エンコーダーボタンを押し保存を実行します。保存をキャンセルする場合は、Presetスイッチを押します。

プリセット名をつける (最大5文字まで)

- 通常画面でエンコーダーを回して、ディスプレイに"SAVE"と表示されたら、エンコーダーを押します。
- ディスプレイに"NAME"が表示されるようエンコーダーを回し、押します。
- スイッチ[C]と[D]を使って変更したいディスプレイの桁を選択し、エンコーダーを回して文字を選びます。
- 5文字全てを確定後、エンコーダーを押すと"STORE"が表示されますので、前述の保存作業を行って下さい。

MIDI構成 (MIDI Configuration)

"MIDI Configuration" (MIDI構成) メニューではプリセットリコールと同時に送信される情報を設定できます (最大16情報)。ここでの設定は、プリセットに含まれることとなりますので、設定後はプリセットの保存を行って下さい。ここで扱える情報は以下の通りです:

タイプ	ディスプレイ表示	データ1	データ2	データ3	MIDIチャンネル
MIDI CC	CC	MIDI CC (0~127)	CC値 (1~127)	設定なし	0 = グローバル、1~16
MIDI ノート	NT	MIDI ノート (0~127)	ベロシティ (0~127)	設定なし	0 = グローバル、1~16
MIDI プログラム & バンク	PGBNK	プログラム (0~127)	LSB (0~127)	MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI NRPN Coarse	NRPNC	値 (0~127)	LSB (0~127)	MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI NRPN Fine	NRPNF	値 (0~127)	LSB (0~127)	MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI マシンコントロール	MMC	デバイスID (0~127)	コマンド (0~127)	設定なし	設定なし
Pacerリレー出力	RELAY	モード (nO/nC/Lt)*	選択(1~4)	設定なし	設定なし
オフ	OFF	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

•通常画面から、"SAVE"が表示されるまでエンコーダーを回して押すと、ディスプレイに"STORE"と表示されます。

•エンコーダーを回して "M CFG"を表示させ、エンコーダーを押して選択します。

•ディスプレイに "1"が表示されます。これは、プログラム可能な16の情報の内、最初のひとつを表しています。エンコーダーを回すことで別のメッセージ番号が表示されますが、これが最初に指定するメッセージの場合は"1"を選択します。

•"TYPE"がディスプレイに表示されます。エンコーダーを押し、上図を参考にタイプを選択します。

•必要なタイプが見つかったら、エンコーダーを押します。

•さらに上図を参照し、データオプション (1-3) とMIDIチャンネルを設定します。

•次のメッセージをプログラムするには、Presetスイッチを押して次のメッセージ番号を選択します。

•設定完了後、ディスプレイに "STORE"が表示されるまでPresetスイッチを押します。前述の保存作業を行って下さい (別のプリセットを呼び出すと設定が失われます)。

グローバル(GLOBAL)メニュー

グローバルメニューでは、各種コネクタやシステム全体の機能を設定します。グローバルメニューに入る操作手順は以下の通りです：

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイが"GLBL"と表示するようにして、エンコーダーボタンを押します。
- ・ エンコーダーで設定メニューを選びます。

グローバルMIDIチャンネル

Pacer 全体のMIDIチャンネルを設定します。各種コントロール情報は基本、このチャンネル設定に従います。コントロールエディットでMIDIチャンネルを"0"に設定した場合、ここで設定されたチャンネルに従います。設定手順は以下の通りです：

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイが"G Ch"と表示するようにして、エンコーダーボタンを押します。
- ・ エンコーダー操作でMIDIチャンネル1～16を選びます。
- ・ エンコーダーボタンを押すと設定が適用され、グローバルメニューに戻ります。

エンコーダーアサイン

Pacerのエンコーダーは、コントローラーの1つとしてMIDI情報を割り当てる事が可能です。設定方法は以下の通りです：

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイが"ENC"と表示するようにして、エンコーダーボタンを押します。
- ・ ディスプレイに"TYPE"と表示されているのを確認したら、再度エンコーダーボタンを押します。
- ・ エンコーダーボタンを押して、タイプ設定メニューに入ります。(下表参照)
- ・ 選択されたタイプに応じた項目が表示されますのでエンコーダーで値を設定し、エンコーダーボタンを押して適用します。複数の項目が用意されている場合は、順番に設定します。
- ・ 設定完了後、エンコーダーボタンを押して適用し、グローバルメニューに戻ります。

タイプ	ディスプレイ表示	データ1	データ2	データ3	MIDIチャンネル
MIDI CC	CC	MIDI CC (0~127)	CC値 (1~127)	設定なし	0 = グローバル、1~16
MIDI CC Relative	CCR	MIDI CC (0~127)	設定なし	設定なし	0 = グローバル、1~16
MIDI NRPN Coarse	NRPNC	値 (0~127)	LSB (0~127)	MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
MIDI NRPN Fine	NRPNF	値 (0~127)	LSB (0~127)	MSB (0~127)	0 = グローバル、1~16
ピッチバンド	PB	最小値 (0~127)	最大値 (0~127)	設定なし	設定なし
アフタータッチ	AFT	最小値 (0~127)	最大値 (0~127)	設定なし	設定なし
プログラム選択	PRG	スタート(0~127)	エンド(0~127)	設定なし	0 = グローバル、1~16
プリセット選択	PRSET	スタート(A1-D6)	エンド(A1-D6)	設定なし	設定なし
ステップ選択	STEP	対象 (A~D, 1~6, FS1~4, EXP1~2)	ステップ(1-6)	設定なし	設定なし
オフ	OFF	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

エンコーダへの割り当てが設定後、通常画面でディスプレイに"E_CTR"が表示されるまでメニューをスクロールし、選択します。エンコーダーを2回押せば、通常モードへと戻ります。

パニック(Panic) - オールノートオフとコントローラーリセット

MIDI情報によってデバイスの動作に問題が起きた際、パニックコマンドでデバイスにリセット情報を送信し、トラブルを解消します。

パニックコマンドは、音源の音が鳴り続ける際に有効です。

MIDI出カソース

Pacer のMIDI出力ポートの送信モードを設定します。通常はフットスイッチの情報を送信しますが、設定によってはUSB-MIDIインターフェイスとして機能します。手順は以下の通りです：

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"M OUT"と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- エンコーダー操作で、MIDI出力モード (Int / USB / I U) を選択し、エンコーダーボタンを押します。
- Presetスイッチを数回押すことで通常画面に戻ります。

オプション	ディスプレイ表示	機能
インターナル	Int	Pacerの操作によるMIDI情報を出力します。
USB	USB	USBを介したコンピューターからのMIDI情報出力します。(USB-MIDIインターフェイス機能 - 出力のみ)
インターナル & USB	I U	PacerとUSBからのコンピューターのMIDI情報の両方を出力します。

フットスイッチ極性

Pacerのフットスイッチ端子 (FS1~4) は通常、電源投入時に接続されているフットスイッチの極性を自動検知します。自動検知機能でフットスイッチ操作が適切ではなかった場合、このメニューオプションの設定で正しく機能させることが可能です。手順は以下の通りです：

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"FS"と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- エンコーダー操作で、目的のフットスイッチ端子 (FS1~4) を選択し、エンコーダーボタンを押します。
- ディスプレイが"MODE"と表示されているのを確認して、エンコーダー操作でモード (下表参照) を選択し、エンコーダーボタンを押します。
- Presetスイッチを数回押すことで通常画面に戻ります。

モードオプション	機能
Aut	モメンタリーモード。自動極性検知。
nO	手動極性設定。モメンタリーモード：ノーマルオープン
nC	手動極性設定。モメンタリーモード：ノーマルクローズ
LAt	ラッチモード：フットスイッチ操作ごとにオープンとクローズを繰り返します。

エクスペッションペダル極性

Pacer のエクスペッション端子 (EXP1/2) は通常、電源投入時に接続されているペダルの極性を自動検知します。自動検知機能でペダル操作が適切ではなかった場合、このメニューオプションの設定で正しく機能させることが可能です。手順は以下の通りです：

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"EXPDL"と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- エンコーダー操作で、目的のペダル端子 (EXP1または2) を選択し、エンコーダーボタンを押します。
- ディスプレイが"MODE"と表示されているのを確認して、エンコーダー操作でモード (下図参照) を選択し、エンコーダーボタンを押します。
- Presetスイッチを数回押すことで通常画面に戻ります。

モードオプション	機能
dEt	自動検知。
1	Korg, M-Audio, Moog (pos. "Std"), Nektar (pos. 1), Roland
2	M-audio (pos. "Other"), Moog (pos. "Other"), Nektar (pos. 2), Yamaha
3	Line6

リレーモード

Pacerのリレー端子 (R1~4) は適切に機能するよう、接続機器の仕様に合わせた設定が可能です。手順は以下の通りです：

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイが"RLY"と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- ・ エンコーダー操作で、目的のリレー端子 (R1~4) を選択し、エンコーダーボタンを押します。
- ・ ディスプレイが"MODE"と表示されているのを確認して、エンコーダー操作でモード (下表参照) を選択し、エンコーダーボタンを押します。
- ・ Presetスイッチを数回押すことで通常画面に戻ります。

モードオプション	機能
nO	モーメンタリーモード：ノーマルオープン
nC	モーメンタリーモード：ノーマルクローズ
LAt	ラッチモード：フットスイッチ操作ごとにオープンとクローズを繰り返します。

パッチアップ/ダウン (PTCHF)

Nektar DAWインテグレーション対応のDAWと接続した場合、Pacerのフットスイッチ[5]と[6]でDAW上のプラグインのパッチ切り替えに使用できます。ただし、プラグインによってはこれらのメッセージにตอบสนองせず、代わりにMIDIプログラムメッセージを送信する必要があります。このグローバルメニューでは次のいずれかのオプションを選択できます：

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイが"PTCHF"と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- ・ エンコーダー操作でモード："DAW"か"PRG"を選び、エンコーダーボタンを押します。
- ・ Presetスイッチを数回押すことで通常画面に戻ります。

メモ："DAW"はDAWのパッチ切り替え情報、"PRG"はMIDIプログラムチェンジモードです。

MCU

PacerにはDAWごとにいくつかのMCUの設定が用意されています。

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイに "MCU" と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- ・ エンコーダー操作で下図に示すオプションのいずれかを選択します。
- ・ Presetスイッチを数回押すことで通常画面に戻ります。

モードオプション	機能
dEF	Studio One を含むその他の一般的なDAW
FLS	FL Studio
Pt	Pro Tools*
Ard	Ardour / Mixbus
Lrn	MIDI フィードバックによるランなし*
LrF	MIDI フィードバックによるラン*

メモ：Pro ToolsはMCUと互換がありません。またLrn/LrF設定はMCUの仕様に沿ったものではありません。設定詳細はNektarアカウントより各DAWごとにダウンロード可能なファイル内をご確認下さい。

LED ディムレベル (DMLVL)

好みに応じて、LEDのディム (薄暗い) レベルを設定できます。

- ・ エンコーダーを回して、ディスプレイに „DMLVL“ がと表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- ・ エンコーダーを動かして値を選択します。LEDがとくに薄暗いと感じる場合、「4」あたりを試してください。
- ・ Presetスイッチを数回押すことで通常画面に戻ります。

エンコーダーコントロールとバックアップ

エンコーダーコントロール

このメニューは設定ではなく、あらかじめ保存されたエンコーダーのコントロール情報を操作するためのオプションです。操作手順は以下の通りです：

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"E_CTR"と表示するようにして、エンコーダーボタンを押します。
- エンコーダー操作で設定されたコントロール情報が機能するようになります。
- エンコーダーボタンを2度押すとグローバルメニューに戻ります。

プリセットバックアップ

プリセットのバックアップを行うためのメニューです。全プリセット、設定を一括してバックアップするだけでなく、各プリセットを個別にバックアップすることも可能です。バックアップファイルはMIDI Sysx (MIDIシステムエクスクルーシブ)として扱いますので、MIDI Sysxの記録に対応したソフトウェアまたはDAWが必要です。操作手順は以下の通りです：

- エンコーダーを回して、ディスプレイが"DUMP"と表示されたら、エンコーダーボタンを押します。
- エンコーダー操作でバックアップする情報を選択します。(下図参照)
- DAWまたはMIDI Sysxソフトウェアを起動し、PacerからのMIDI情報を記録できる状態にして、レコーディングを開始します。
- エンコーダーを押して、バックアップ情報をMIDI Sysxとして送信します。送信が完了するとトップメニューに戻ります。
- DAW/Sysxソフトウェアのレコーディングを停止し、バックアップ情報記録されていることを確認します。

モードオプション	機能
ALL	全てのプリセット設定、グローバルメニューと現在の設定がSysx経由で送信されます。
CUr	現在の設定のみを送信します。
GLb	グローバルメニュー設定のみを送信します。
A1~D6	A1-D6から特定のプリセットを選択し、そのプリセットのデータのみを送信します。

バックアップ情報をPacerに戻すには、DAW/Sysxソフトウェアの出力先がPacerであることを確認して、再生するだけです。

メモ：DAWを使用する場合、まずご利用のDAWがMIDIシステムエクスクルーシブ対応かどうかを確認して下さい。データを扱う際は、MIDIトラックを使用します。MIDIトラックの入力と出力にPacerが選択されていることを確認して下さい。データが正常に記録できない場合、DAWのMIDIフィルターでシステムエクスクルーシブが遮断されていないことをご確認ください。また、DAWのテンポを80bpm程度に落として再度お試しください。

ファクトリーリストア

以下の操作でPacerを工場出荷時の状態に戻すことができます：

- Pacerの電源がオフであることを確認します。
- Presetスイッチを押しながら、Pacerの電源を投入します。
- ディスプレイに"G CFG"と表示されます。エンコーダーを回して"RESET"を選択します。
- エンコーダーノブボタンを押して、リセットを実行します。
- リセットが完了されると、通常画面に戻ります。

この操作は、最初から設定をし直す際に便利です。

MIDIインプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
チャンネル	デフォルト 設定範囲	1 1-16	1 1-16	
モード	メモリ メッセージ 代替え	× × 設定なし	3 × ×	
ノート値		0 - 127	0 - 127	設定可能
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	0 - 127 ×	0 - 127 ×	
アフタータッチ	チャンネル	○	○	
ピッチベンド		○	×	
コントロールチェンジ	0-119	0-127	0-127	設定可能
プログラムチェンジ		0-127	×	設定可能
システムエクスクルーシブ		○	○	
システムコモン		×	×	
システムクロック		×	×	
AUX CC 情報	120-127	○	○	

×= 非対応 / ○= 対応

モード1: オムニオン、ポリ

モード2: オムニオン、モノ

モード3: オムニオフ、ポリ

モード4: オムニオフ、モノ

メニュー階層

Pacerのメニュー階層は以下の通りです:

コントロールエディット (CTRL)

- 設定 (SETUP)
 - 全ステップ同時 (ALL)
 - ステップシーケンス (SEq)
 - 外部ステップ選択 (ESS)
- ステップ設定 (STEPS)
- タイプ (TYPE)
 - MIDI CCTグル (CCTOG)
 - DATA1 - MIDI CC#
 - DATA2 - CC値1
 - DATA3 - CC値2
 - MIDIチャンネル
 - MIDI CCTリガー (CCTRG)
 - DATA1 - MIDI CC#
 - DATA2 - CC値1 - ダウン
 - DATA3 - CC値2 - アップ
 - MIDIチャンネル
 - MIDI CCステップ (CCSTP)
 - DATA1 - MIDI CC#
 - DATA2 - CC値1 - スタート
 - DATA3 - CC値2 - エンド
 - MIDIチャンネル
 - MIDIノート (NT)
 - DATA1 - MIDI Note#
 - DATA2 - ペロシティ値
 - MIDIチャンネル
 - MIDIノート トグル (NTTOG)
 - DATA1 - MIDI Note#
 - DATA2 - ペロシティ値
 - MIDIチャンネル
 - MIDI プログラム/バンクチェンジ (PGBNK)
 - DATA1 - MIDIプログラム#
 - DATA2 - Bank LSB
 - DATA3 - Bank MSB
 - MIDIチャンネル
 - MIDI プログラムステップ (PGSTP)
 - DATA1 - スタート
 - DATA2 - エンド
 - MIDIチャンネル
 - MIDI NRPN Coarse (NRPNC)
 - DATA1 - 値
 - DATA2 - LSB
 - DATA3 - MSB
 - MIDIチャンネル
 - MIDI NRPN Fine (NRPNF)
 - DATA1 - 値
 - DATA2 - LSB
 - DATA3 - MSB
 - MIDIチャンネル
 - MIDI Machine Control (MMC)
 - DATA1 - デバイスID
 - DATA2 - コマンド
 - Pacerリレー出力 (RELAY)
 - DATA1 - モード
 - DATA2 - セレクト
 - Pacerプリセット (PRSET)
 - DATA1 - ターゲット
 - Pacerプリセット切替 (PR+))
 - DATA1 - 方向
 - コントロールステップ選択 (STEP)
 - DATA1 - ターゲット
 - DATA2 - ステップ
 - コントロールステップ切替 (STP+))
 - DATA1 - ターゲット
 - DATA2 - 方向
 - Nektar DAWコントロール (DAW)
 - DATA1 - 機能
 - オフ (OFF)
- LEDカラー (LED)
 - MIDIアサイン (MIDI)
 - オンカラー (ONCLR)
 - オフカラー (OFCLR)
 - LEDナンバー (LEDNM)
 - 戻る (BACK)

保存 (SAVE)

- 保存 (Store)
- MIDI構成 (M CFH)
 - タイプ (TYPE)
 - MIDI CC (CC)
 - DATA1 - MIDI CC#
 - DATA2 - CC値
 - MIDIチャンネル
 - MIDIノート (NT)
 - DATA1 - MIDI Note#
 - DATA2 - ペロシティ値
 - MIDIチャンネル
 - MIDIプログラム/バンクチェンジ (PGBNK)
 - DATA1 - MIDIプログラム#
 - DATA2 - Bank LSB
 - DATA3 - Bank MSB
 - MIDIチャンネル
 - MIDI NRPN Coarse (NRPNC)
 - DATA1 - 値
 - DATA2 - LSB
 - DATA3 - MSB
 - MIDIチャンネル
 - MIDI NRPN Fine (NRPNF)
 - DATA1 - 値
 - DATA2 - LSB
 - DATA3 - MSB
 - MIDIチャンネル
 - MIDI Machine Control (MMC)
 - DATA1 - デバイスID
 - DATA2 - コマンド
 - Pacerリレー出力 (RELAY)
 - DATA1 - モード
 - DATA2 - セレクト
 - Nektar DAWコントロール (DAW)
 - DATA1 - 機能
- オフ (OFF)

グローバル (GLBL)

- グローバルチャンネル (G Ch)
 - エンコーダーアサイン (ENC)
 - タイプ (TYPE)
 - MIDI CC (CC)
 - DATA1 - MIDI CC#
 - DATA2 - CC値
 - MIDIチャンネル
 - MIDI CC Relative (CCR)
 - DATA1 - MIDI CC#
 - MIDIチャンネル
 - MIDI NRPN Coarse (NRPNC)
 - DATA1 - 値
 - DATA2 - LSB
 - DATA3 - MSB
 - MIDIチャンネル
 - MIDI NRPN Fine (NRPNF)
 - DATA1 - 値
 - DATA2 - LSB
 - DATA3 - MSB
 - MIDIチャンネル
 - ピッチベンド (PB)
 - DATA1 - デバイスID
 - DATA2 - コマンド
 - アフタータッチ (AFT)
 - DATA1 - モード
 - DATA2 - セレクト
 - プログラム選択 (PRG)
 - DATA1 - スタート
 - DATA2 - エンド
 - MIDIチャンネル
 - プリセット選択 (PRSET)
 - DATA1 - スタート
 - DATA2 - エンド
 - ステップ選択 (STEP)
 - DATA1 - スタート
 - DATA2 - エンド
 - Nektar DAWコントロール (DAW)
 - DATA1 - 機能
 - オフ (OFF)
 - パニック (Panic)
 - MIDI出力モード (M OUT)
 - フットスイッチ極性 (FS)
 - モード (MODE)
 - エクスプレッションペダル極性 (EXPDL)
 - モード (MODE)
 - リレー動作 (RLY)
 - モード (MODE)
 - パッチ切替モード (PTCHF)
-
- エンコーダーコントロール (E_CTRL)
 - プリセットバックアップ (DUMP)
 - 全設定 (ALL)
 - 現在のプリセット (CUR)
 - グローバルメニュー (GLb)
 - 特定のプリセット (A1~D6)

www.hookup.co.jp

HOOK UP, INC.

日本総輸入代理店株式会社フックアップ
Designed by Nektar Technology, Inc
Made in China

nektar